



教科名： 検査実務

2025年度

実習

一級自動車工学科

時 期： 3年 後期

科 目： 自動車検査作業

時限数： 20時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY19	メンテナンスのため		
FY20	メンテナンスのため	3/11	西浦、中野
FY21	メンテナンスのため	3/31	西浦、森田
FY22	メンテナンスのため	3/31	中野、合田
FY23	メンテナンスのため	3/31	西浦
FY24	メンテナンスのため	3/31	西浦

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科		2025年度		授業計画		
時 期	3年後期	単 元	実 習	教科名	検査実務	
科 目	自動車検査作業	教科書等 持参品	法令教材		発行日	2019/3/1改訂 1
※ 注1 総時限	20時限				教科担	西浦進一
※ 注1 授業時間	32時間				当	長井一真
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は3872.0時間（50分ベース）を確保（法定合計時間3670時間（50分ベース））						
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士として自動車検査の実務経験がある教員により自動車検査作業について指導する						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
・検査作業が実施できる ・検査機器の取り扱いができる						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
1. 道路運送車両法における保安基準を理解し、記載内容が実車両において確認できる 2. 車検ラインにおいて、各計測器を使用して検査ができる						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
実習評価点は、技術評価点（70点）＋レポート評価点（15点）＋取組評価点（15点） 70点以上を合格とする 技術評価点 ・実技試験 100% ① 検査機器の正しい取り扱い方 ② 測定数値により合否判定						
5. 準備学習						
法令教材の制動装置、灯火装置、速度計、かじ取り装置の内容について復習しておくこと						
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す ※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者						
6. 指導目標						
1. 保安基準を把握させる 1) 条文の内容を理解し、要点をまとめる 2) 上記内容を実車両において確認し理解させる 3) 不適合箇所が見つけられるように指導する 2. 車検ラインにおいて、各計測器を使用して検査方法を理解させる 1) 車検ラインの各計測器の取扱を習熟させる 2) 計測値及び計算値が検査基準に対して適合しているか判定できるように指導する						

2025年度 授業計画

[illegible]

一級自動車工学科		2025年度		授業計画	
時 期	後期	単元	実習	教科名	検査実務
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	ヘッドライトの調整作業	・エンジン始動時は声かけと返事 ・ライトテストの移動は丁寧におこなう ・ヘッドライトの調整ネジは、過度に回しすぎない（内部破損の原因になる）			
2	サイドスリップテストの取扱	・車両の進入経路には立たない ・調整作業時は適切な工具を使用し、作業用グローブを着用すること			
3	スピードメータテストの取扱い ブレーキテストの取扱い	・車速及び制動力の計測時は、テストの回転部分に注意し、安全な場所で行うこと			
8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）					
実習場			座学教室		
					